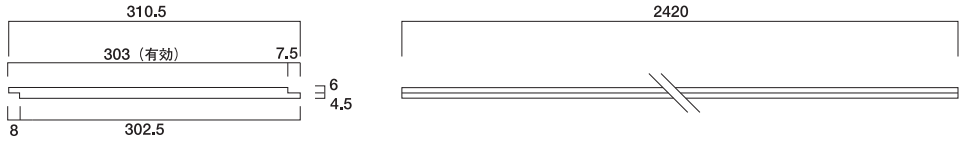
DS WALL （DSウォール）　DSウォール取扱説明書

■設計者の皆様方へ　※オーダーされる前に必ずお読みください※不明点等ございましたらお気軽にお問い合せください
■施工業者の皆様へ　※施工される前に必ずお読みください※不明点等ございましたらお気軽にお問い合せください

ＤＳウォール（無垢タイプ）寸法図



ＤＳウォール（無垢タイプ）施工手順

■施工手順

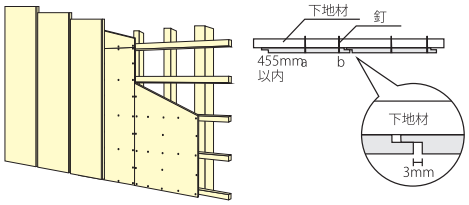
1. 下地には 9mm 以上の合板を捨貼りし、平滑な状態に仕上げます
2. 合板捨貼りのジョイント部は必ず胴縁上で行うようにしてください
3. 巾木・笠木等を使用する場合は、必ず巾木・笠木の位置に胴縁をまわすようにします
4. 下地の施工が終わりましたら、胴縁位置の墨出しを行います
5. パネルの施工状態の割付を行います
   （天然木のため製品によって多少色違いが発生しますので、必ず仮置きをしてください）
6. 必要に応じ、貼り始め・貼り終わりパネルのカットを行います
7. 墨出しした位置にあわせ、接着剤と釘で施工していきます
8. 釘の頭はポンチで埋め込みパテ等で補修します
   （塗装品については塗装色と同系色で補修してください）
9. 初期接着強度が低い場合は建材用の両面テープを併用してください

使用上の注意と日頃のメンテナンス

1．日頃のお手入れは、乾いた布でカラ拭きし、水拭きはおやめください
2．汚れの酷い場合は、中性洗剤を水で薄め固く絞って拭き取り、その後乾拭きしてください
3．溶剤を使用しますと、表面が変色変質しますのでおやめください

■施工時のご注意

注意）接着剤は点付けで施工してください
　天然木は収縮するため、下地の剥離や製品の割れを生じる恐れがあります
　現場塗装を行う場合は、裏面も塗装してください。表面のみ塗装した場合、反り、狂いが発生します



天然木のため、施工後湿気により多少収縮する場合があります。
必ず目透かしを 3mm程度とって施工してください。釘は壁際の実部から 30mm程度のところと中央部に打ってください。
なるべくｂ部への釘打ちのみにして、逆側は上部へ重ねるパネルで押さえるようにして、パネルの伸縮を妨げない施工をしていただくと割れ、ヒビを抑制することができます

注意
DS ウォール (無垢タイプ) 無塗装品を使用される場合は現場等で裏表ともウレタン塗料など塗膜が形成される塗料で塗装してください。
ワックス・オイルなど木材内部の水分が吸収されやすい塗料の場合、空調などの急激な湿度変化で割れる場合がございます。
天然木のため、設置後湿気により多少収縮することがございます。必ず目透かしを 3mm 程とって施工してください。

ＤＳウォール（不燃ケイカル板タイプ）施工手順

■施工前のご注意

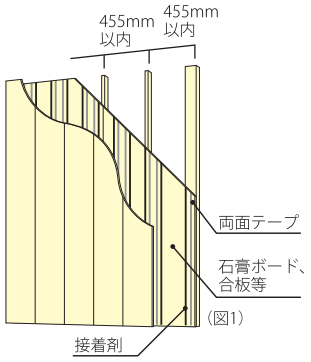
1. 屋内の平らな場所で、床面からの湿気を防止できるよう床面直置きは避け、10 ～ 100mm程度の高さで保管してください
2. 水濡れや汚れを防ぐため防水シート等で養生してください
3. 破損しやすい素材です。荷降ろし・搬入運搬の際は充分注意してください
4. ボード下地上へ施工してください（石膏ボード・合板など）充分な強度が得られます
5. 接着剤・両面テープは推奨品をご使用ください
   接着剤の成分によっては施工後表面にシミとなって浮き出ることが確認されています
6. 下地は乾燥した（含水率 20%以下）材料を使用してください
   水分の多い素材を使用した場合、商品が水分を吸収し表面のシミとなって現れることが確認されています
7. 水分が多い場所、頻繁に水がかかる場所には施工しないでください

■施工時のご注意

1. 商品をカットする際は保護メガネ・防塵マスクを使用し、手袋・長袖の作業着を着用して皮膚が露出しないようにしてください
   また、集塵装置を使用し作業場所の保全に努めてください
2. 下地が 9mm 以上の合板等木質素材の場合、ビス・スーパーフィニッシュによる留め付けが可能です
3. 天井に施工される場合、脱落防止のために接着剤に木ビスやスーパーフィニッシュ併用での施工をお勧めいたします
4. ビスを併用する場合、破損の恐れがございますので端部より 15mm以上離れた位置に打つようにしてください

■施工手順

1. 下地を石膏ボード (9.5 ㎜以上) もしくは合板 (5.5 ㎜以上) でつくります
   下地は平滑に仕上げます
2. あらかじめ、仕上げ材を施工する前に仮並べを行い、数量のチェックと共に位置を確認し、墨出しを行います



（図1）

推奨接着資材（現場手配品 / 注文可能品 ）

商品名		推奨メーカー	使用方法	使用量	使用製品
接着剤（アクリル系）	EM346	セメダイン㈱、	ボードテープ 310 と併用	250g/ ㎡	無垢材用
	ネダボンドアプリバック	コニシ㈱	TM テープ W1-20 と併用	250g/ ㎡	不燃用
接着剤（シリコーン系）	ボンド MPX-7	コニシ㈱	パネルタックテープと併用	170ml/ ㎡	不燃用
両面テープ	ボードテープ 310	セメダイン㈱、	EM346 と併用	3.3m/ ㎡	無垢材用
	TM テープ W1-20	コニシ㈱	ネダボンドアプリバックと併用	3.3m/ ㎡	不燃用
	パネルタックテープ 	日東エルマテリアル㈱	MPX-7 と併用	3.3m/ ㎡	不燃用

推奨留め付け資材（現場手配品 ）

ピンネイル	仕　様	長さ：25 30 35　径：0.6Φ
	材　質	メッキ、ステンレス
	推奨メーカー	マックス㈱、㈱マキタ
	適用範囲	木製下地 (壁)
スーパーフィニッシュ	仕　様	長さ：25 30 35　径：3.8Φ
	材　質	メッキ、ステンレス
	推奨メーカー	マックス㈱、㈱マキタ
	適用範囲	木製下地 (壁、天井)
皿木ねじ	仕　様	長さ：25 以上　径：3.0Φ以上
	材　質	メッキ、ステンレス
	推奨メーカー	―――――
	適用範囲	木製下地 (壁、天井)

施工後のご注意・日常のお手入れ

1．表面に付着した汚れをそのままにしておくと、内部に染み込み落ちにくくなります。汚れが染み込む前にきれいな布等で拭き取ってください
2．汚れが付着した布や雑巾はかえって汚れをひどくする場合がありますので使用しないでください
3．汚れがひどい場合は中性洗剤を水で薄めた溶液に浸した布を固く絞って拭いてください。拭き終わりましたら、別の布を水に浸して固く絞り、洗剤の成分を充分に拭き取るようにします
※洗剤が表面に残ったまま放置した場合、変色を起こす恐れがあります
4．酸性・アルカリ性の洗剤、塩素系漂白剤、シンナー、ナイロンたわしやスチールウール、研磨剤、メラミンスポンジフォーム等は使用しないでください

2025 年 3 月 14 日改訂